

戦国最強の知将!

☆毛利 元就☆



わしは、毛利元就ですぞ☆
1497年3月14日に、
安芸の国人領主、毛利弘元の次男として誕生したのじゃ! 幼名は、松寿丸じゃぞっ☆
宜しくお願い致す!
これからわしの人生を紹介するぞい!

三本の矢



元就は三人の息子を、枕元に呼び寄せ、一本の矢を折るよう命じた。息子達が難無く折ると、次は三本の矢を折るよう命じた。…が、誰も折れなかった。元就は、「一本ではもろい矢も束になれば頑丈になるぞよ☆」と言った。

☆わしの経歴☆

- 1497年 わし、生まれる。
- 1506年 わし、いろいろあり城から追い出される。
- 1511年 わし、元服して毛利元就と名乗る。
- 1516年 兄が急死。兄の息子が家督を継ぐが、幼いため、わしが叔父として後見人になる。そしてわし、初陣。 **キャーわしかっこいい☆**
- 1523年 わし、27歳。家督を継ぐ。 **ピッチピチ☆**
- 1525年 わし、尼子氏と縁を断ち、大内氏側に付いた。
～ 略 ～
- 1546年 わし、家督を息子・毛利隆元に譲る。
- 1571年 わし、波乱万丈な人生に幕を閉じる (享年75歳)

☆わしの武勇伝☆

その1 厳島神社への参拝

元服まえに家臣とともに厳島神社へ参拝に行った際、元就は、「天下の主になると祈願して、やっと中国地方が獲れようというもの。まして、最初から安芸一国を目標にしていたのでは、安芸一国すら獲れずに、終わってしまう。」と幼いながらに言った。

その2 領民からの人望は厚かった!

その3 家臣・周辺国人への気遣いできる男!!

その4 合戦数

生涯に経験した合戦数は、公式な書類でも200以上ある。これは、日本の戦国時代のみならず、世界の英雄伝においても稀な記録だ。